

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.76

(令和2年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 2 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲68.3 と 2019 年下期に比べ 42.1 ポイント悪化しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲72.8（前期▲38.4）、建設業▲57.3（前期▲3.9）、卸売業▲74.9（前期▲39.3）、小売業▲73.7（前期▲47.6）、飲食業▲93.2（前期▲34.5）、サービス業▲63.3（前期▲14.8）、交通運輸業▲81.1（前期▲24.4）、その他の業種▲55.5（前期▲17.0）と、すべての業種で悪化しました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲65.3（前期▲23.4）、中勢地区▲69.3（前期▲32.7）、南勢地区▲78.1（前期▲19.4）、伊賀地区▲67.7（前期▲21.6）、東紀州地区▲71.0（前期▲46.1）となり、すべての地区で悪化しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲64.1 となり、現状の D I 値（▲68.3）と比較すると 4.2 ポイントの改善を見通しています。業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、交通運輸業、その他の業種が改善を見通すほか、建設業とサービス業はほぼ横ばいの見通しです。地区別では、ほぼ横ばいの北勢地区を除くすべての地区で改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においては、全ての項目で全体 D I 値が前期より悪化しました。地区別では「売上状況」「利益状況」「販売条件」は全ての地区で悪化、「仕入条件」はほぼ横ばいの東紀州地区を除く全ての地区で悪化しました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 14.7%（前期 20.0%）と 5.3% 減少した一方で、「予定している」とした割合は、全体で 15.4%（前期 14.0%）と 1.4% 増加しました。業種別の実績では、その他の業種が 21.4% で割合が最も高く、地区別の実績では北勢地区が 16.3%、設備投資の予定では南勢地区が 19.7% と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 15.9（前期 8.0）と改善したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 26.7%（前期 13.9%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 82.7%（前期 62.3%）、『設備資金』の割合は 13.4%（前期 34.0%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 2 年 8 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,558 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 30.3%、回答企業 2,903 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 2 年 7 月 1 日～7 月 10 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の DI 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

DI 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DI とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計	
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	50	14	23	11	2	30	10	20	21	12	9	8	5	3	17	11	6	126	
	せんい	7	1	4	1	1	2	0	2	0	0	0	9	7	2	1	1	0	19	
	機械	73	34	25	12	2	8	3	5	11	2	9	9	6	3	5	4	1	106	
	金属製品	90	35	22	24	9	17	6	11	7	6	1	3	3	0	3	3	0	120	
	木材	25	12	9	2	2	16	2	14	8	8	0	2	1	1	12	10	2	63	
	化学	12	2	4	3	3	3	3	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	18	
	窯業	25	3	18	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2	2	31	
	印刷出版	16	6	1	7	2	22	15	7	2	2	0	3	1	2	1	1	0	44	
	その他	71	15	24	26	6	19	5	14	8	3	5	6	2	4	3	2	1	107	
	計	369 (23.4) (58.2)	122	130	89	28	119 (22.8) (18.8)	45	74	57 (15.8) (9.0)	33	24	43 (19.5) (6.8)	26	17	46 (20.5) (7.3)	34	12	634 (21.8) (100.1)	
非製造業	建設業	土木工事	99	12	41	41	5	15	4	11	15	7	8	15	5	10	8	5	3	152
		建築工事	175	39	84	47	5	54	25	29	31	23	8	14	8	6	15	12	3	289
		その他	169	32	89	44	4	49	27	22	22	18	4	14	1	13	7	6	1	261
		(小計)	443	83	214	132	14	118	56	62	68	48	20	43	14	29	30	23	7	702
	卸売業	食料	20	8	8	3	1	6	4	2	5	3	2	3	2	1	6	4	2	40
		せんい	3	0	3	0	0	2	0	2	6	6	0	3	3	0	1	1	0	15
		その他	69	22	32	10	5	22	7	15	10	6	4	10	3	7	2	0	2	113
		(小計)	92	30	43	13	6	30	11	19	21	15	6	16	8	8	9	5	4	168
	小売業	せんい	40	15	13	6	6	11	4	7	14	8	6	2	2	0	10	6	4	77
		食料	50	15	18	8	9	12	3	9	13	10	3	6	2	4	20	9	11	101
		日用品	9	5	3	1	0	6	1	5	4	4	0	1	0	1	3	3	0	23
		電気製品	19	5	6	7	1	10	2	8	5	5	0	4	4	0	6	5	1	44
		その他	101	31	41	19	10	49	9	40	23	11	12	17	9	8	15	9	6	205
		(小計)	219	71	81	41	26	88	19	69	59	38	21	30	17	13	54	32	22	450
		飲食業	70	21	23	15	11	20	3	17	55	35	20	21	9	12	25	12	13	191
		美容・理容	41	13	17	8	3	7	3	4	5	5	0	10	4	6	10	6	4	73
	サービス業	ホテル旅館	4	1	2	1	0	3	1	2	22	0	22	1	1	0	4	2	2	34
		自動車整備	42	9	16	12	5	19	4	15	11	10	1	8	3	5	10	3	7	90
		不動産	78	14	47	13	4	18	10	8	11	11	0	8	3	5	4	4	0	119
		その他	128	31	53	33	11	49	25	24	33	29	4	22	6	16	13	6	7	245
		(小計)	293	68	135	67	23	96	43	53	82	55	27	49	17	32	41	21	20	561
	交通運輸業	17	3	5	1	8	25	6	19	4	3	1	6	6	0	6	5	1	58	
	計	1134 (72.0) (53.2)	276	501	269	88	377 (72.1) (17.7)	138	239	289 (80.1) (13.6)	194	95	165 (75.0) (7.7)	71	94	165 (73.7) (7.7)	98	67	2130 (73.4) (99.9)	
	その他・不明	72 (4.6) (51.8)	13	28	21	10	27 (5.2) (19.4)	21	6	15 (4.2) (10.8)	9	6	12 (5.5) (8.6)	8	4	13 (5.8) (9.4)	7	6	139 (4.8) (100.0)	
	合計	1575 (100.0) (54.3)	411	659	379	126	523 (100.1) (18.0)	204	319	361 (100.1) (12.4)	236	125	220 (100.0) (7.6)	105	115	224 (100.0) (7.7)	139	85	2903 (100.0) (100.0)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,903 事業所中、「良い・やや良い」が 6.3%、「悪い・やや悪い」が 74.6%で、D I 値は▲68.3（前期▲26.2）となり、42.1 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲72.8、建設業▲57.3、卸売業▲74.9、小売業▲73.7、飲食業▲93.2、サービス業▲63.3、交通運輸業▲81.1、その他の業種▲55.5 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べすべての地区で大幅な悪化がとなり、北勢地区▲65.3、中勢地区▲69.3、南勢地区▲78.1、伊賀地区▲67.7、東紀州地区▲71.0 となった。

図－1 現状について（業種別）

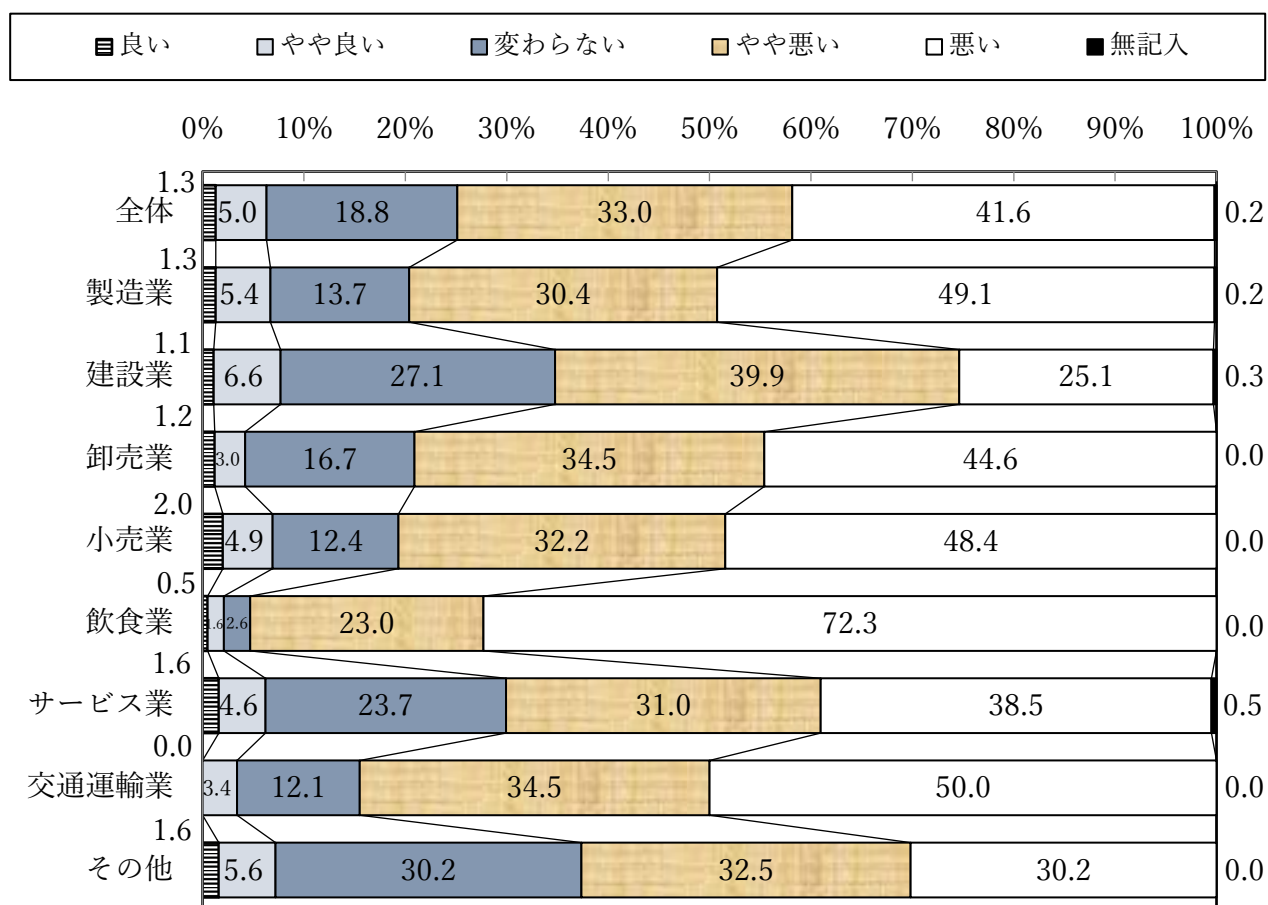


図-2 現状について（全体・地区別）

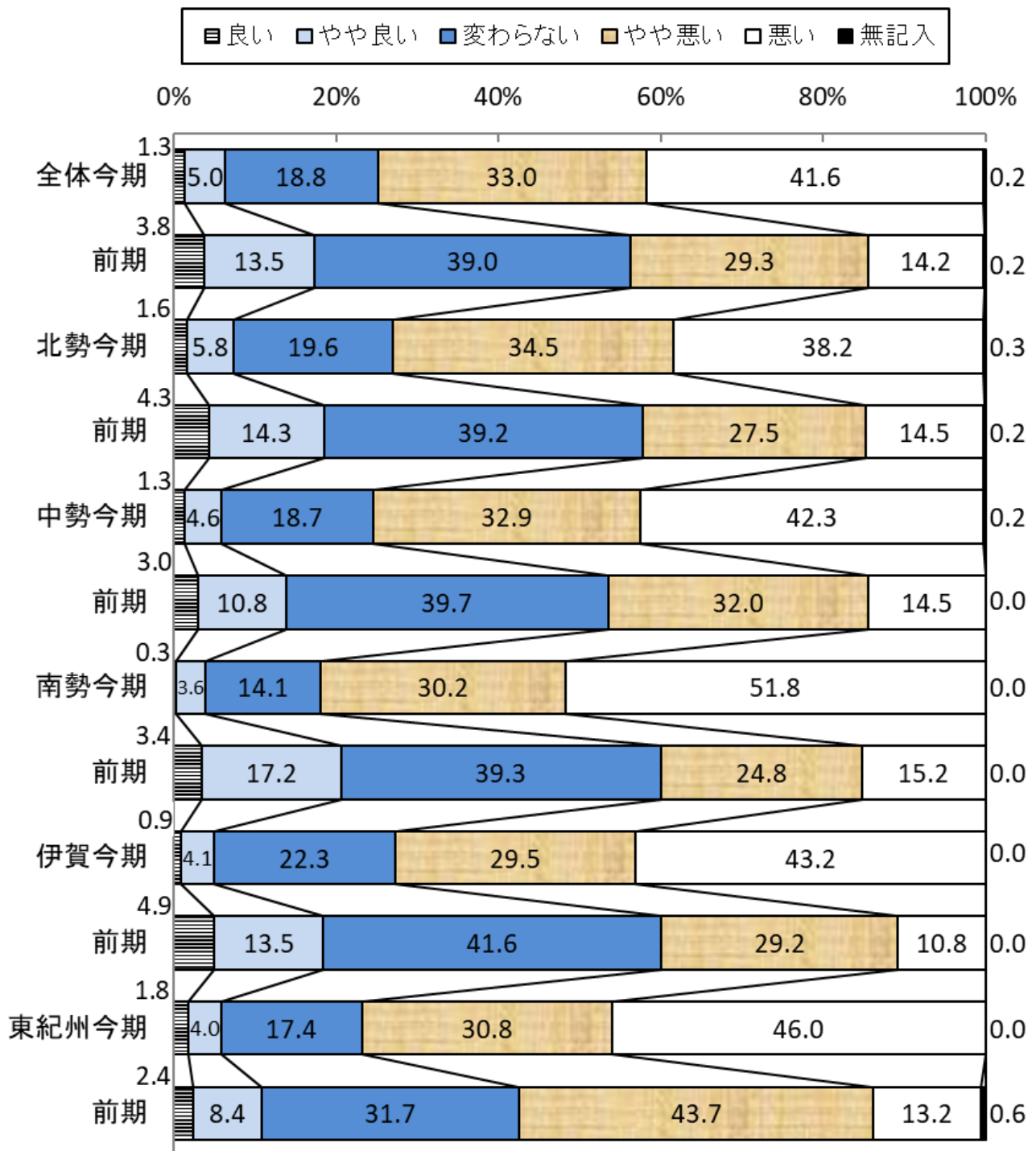
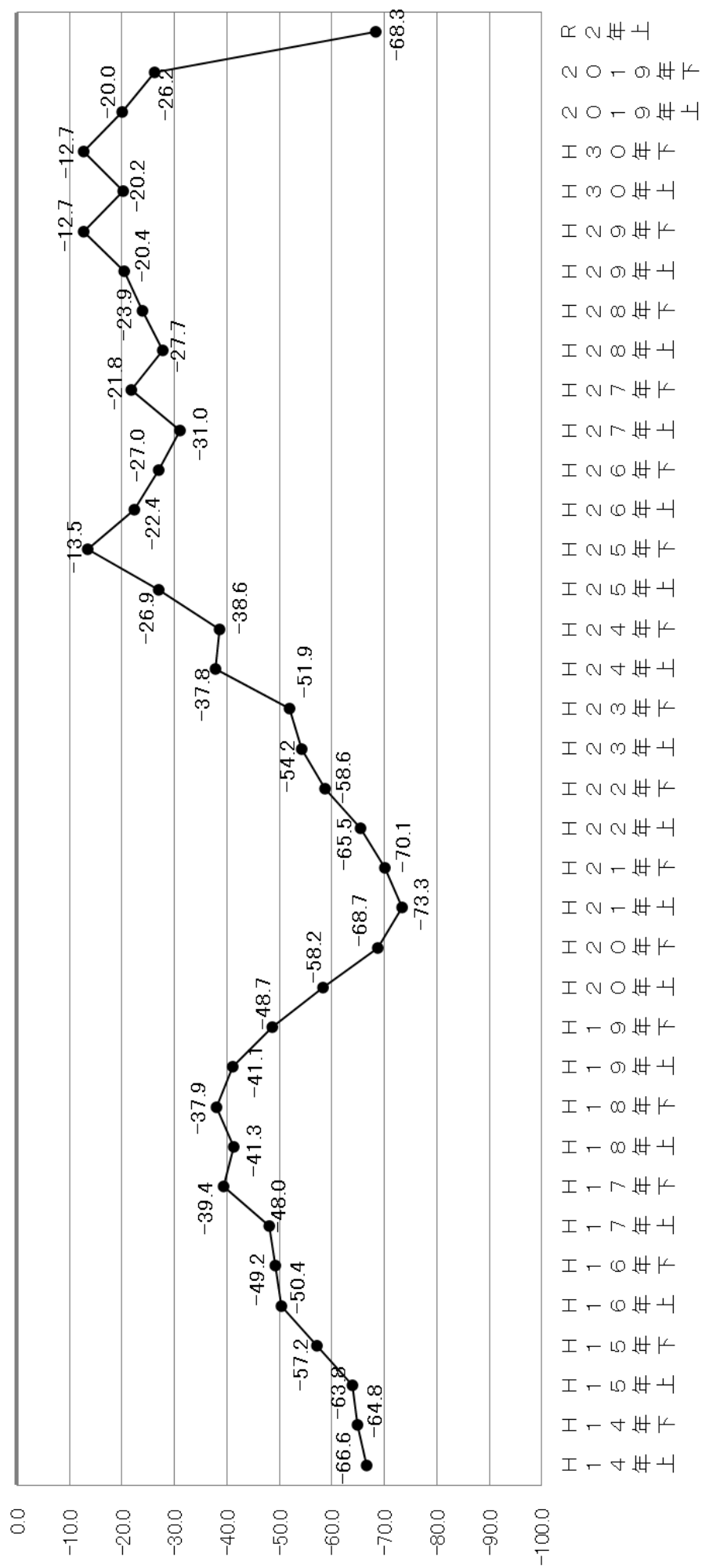


図-3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

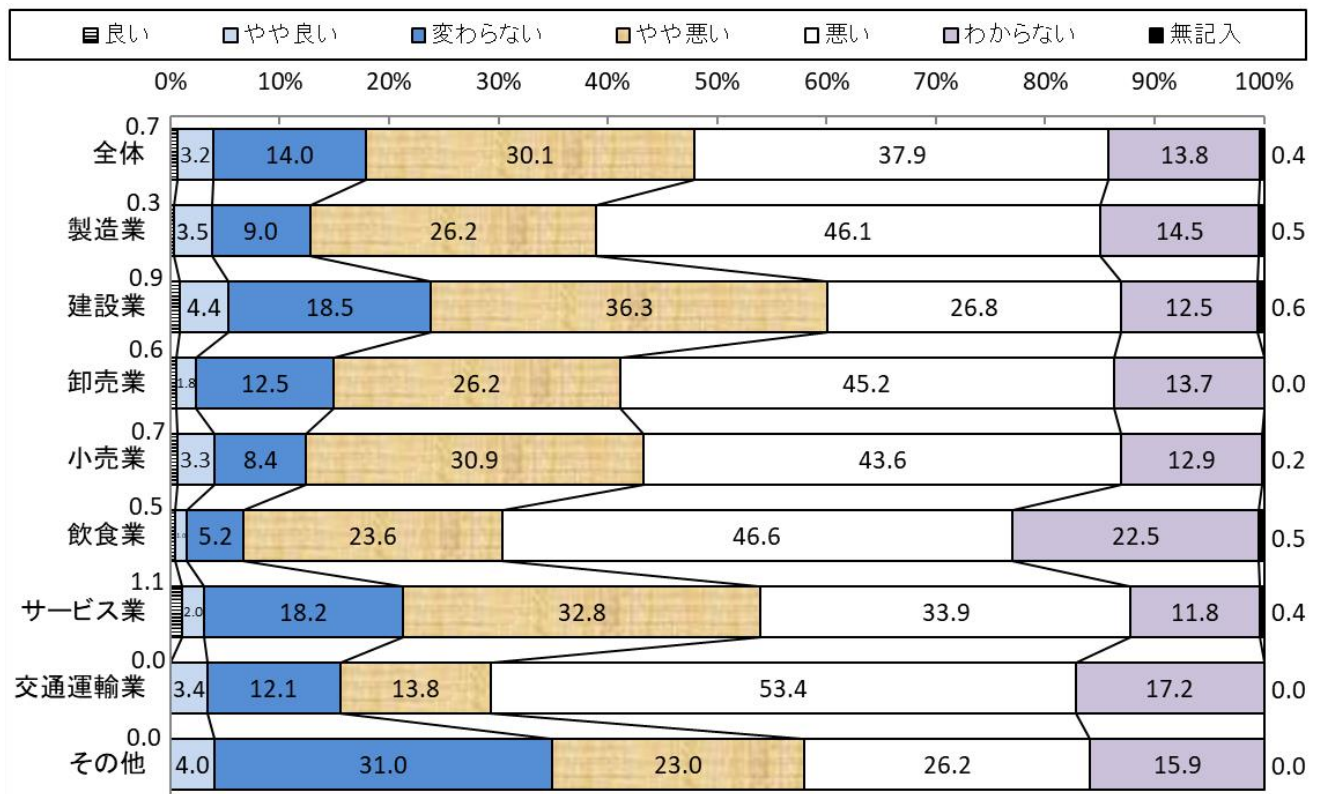
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が3.9%、「悪い・やや悪い」は68.0%で、D I値は▲64.1（現状D I値▲68.3）となり、4.2ポイント改善の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べほぼ横ばいとなった建設業、サービス業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、製造業▲68.5、建設業▲57.8、卸売業▲69.0、小売業▲70.5、飲食業▲68.7、サービス業▲63.6、交通運輸業▲63.8、その他の業種▲45.2となった。

地区別のD I値では、現状と比べほぼ横ばいとなった北勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲64.8、中勢地区▲61.0、南勢地区▲69.0、伊賀地区▲64.5、東紀州地区▲59.4となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



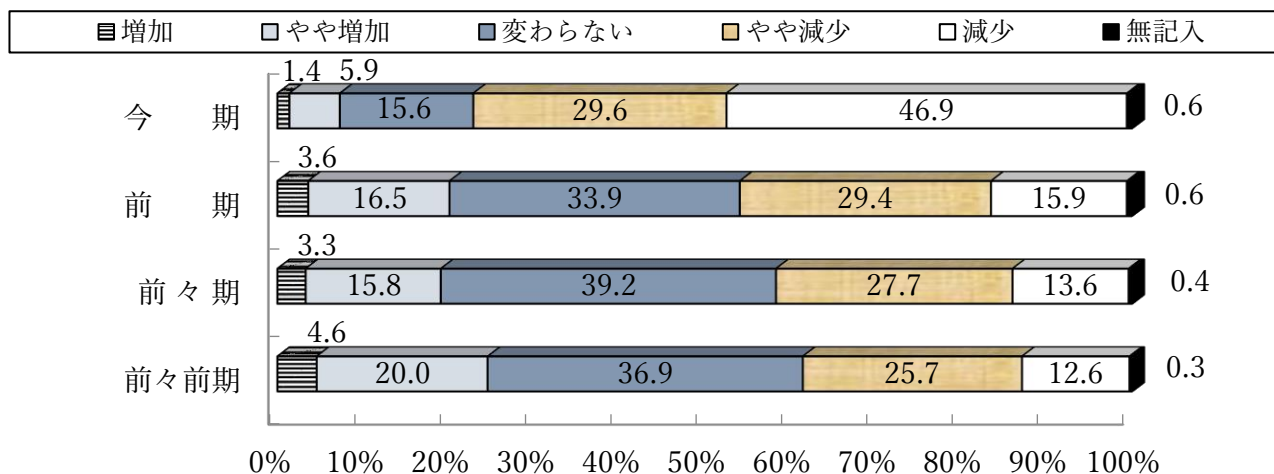
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が7.3%（前期20.1%）、「やや減少・減少」が76.5%（前期45.3%）で、D I値は▲69.2（前期▲25.2）となり、44.0ポイント悪化した。

業種別のD I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲74.8、建設業▲58.8、卸売業▲69.7、小売業▲74.4、飲食業▲92.7、サービス業▲64.8、交通運輸業▲72.4、その他の業種▲59.6となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が増加し悪化となり、北勢地区▲66.4、中勢地区▲69.2、南勢地区▲78.1、伊賀地区▲68.7、東紀州地区▲73.7となった。

図-5 売上状況



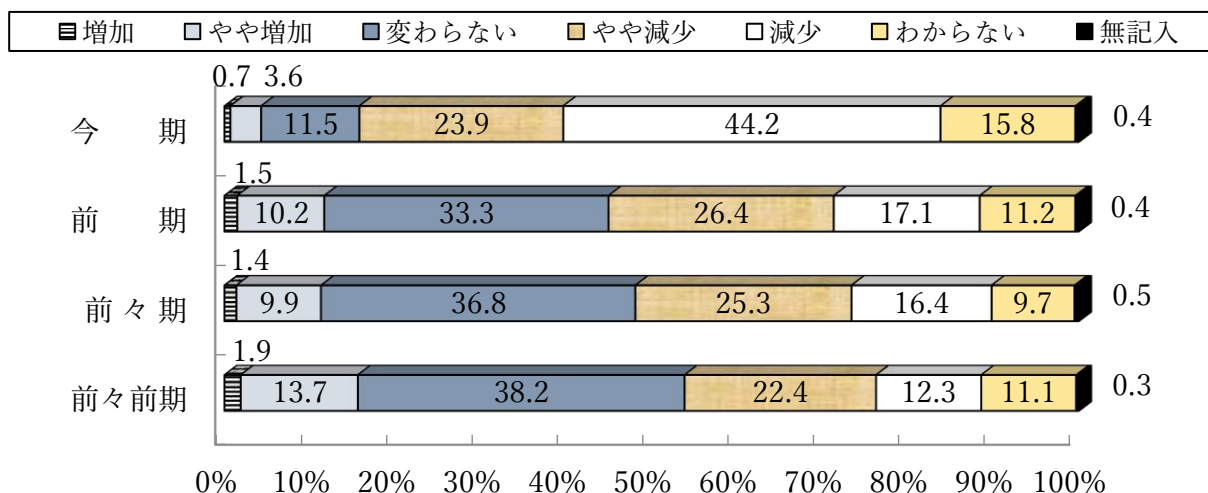
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が4.3%（前期11.7%）、「やや減少・減少」が68.1%（前期43.5%）で、D I値は▲63.8（現状D I値▲69.2）となり、5.4ポイント改善する見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べほぼ横ばいとなった建設業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、製造業▲68.4、建設業▲57.9、卸売業▲67.3、小売業▲70.7、飲食業▲68.6、サービス業▲62.0、交通運輸業▲67.3、その他の業種▲44.4となった。

地区別のD I値では、現状と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲64.0、中勢地区▲61.2、南勢地区▲68.2、伊賀地区▲62.7、東紀州地区▲62.6となった。

図-6 売上見通し



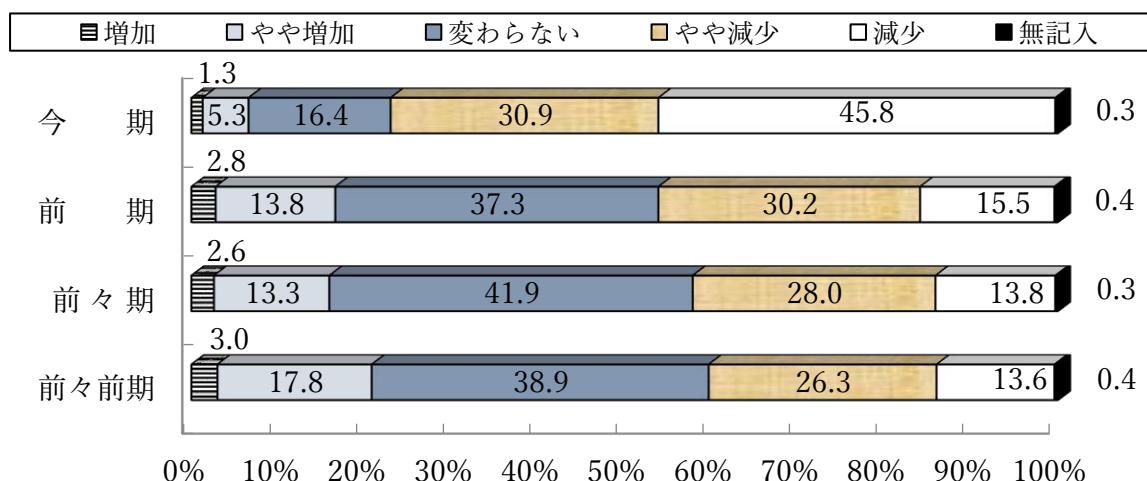
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が6.6%（前期16.6%）、「やや減少・減少」が76.7%（前期45.7%）で、D I値は▲70.1（前期▲29.1）となり、41.0ポイント悪化した。

業種別のD I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲72.1、建設業▲62.2、卸売業▲72.6、小売業▲75.5、飲食業▲92.7、サービス業▲66.3、交通運輸業▲72.5、その他の業種▲60.3となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が増加し悪化となり、北勢地区▲67.8、中勢地区▲70.5、南勢地区▲77.0、伊賀地区▲69.1、東紀州地区▲75.0となった。

図-7 利益状況



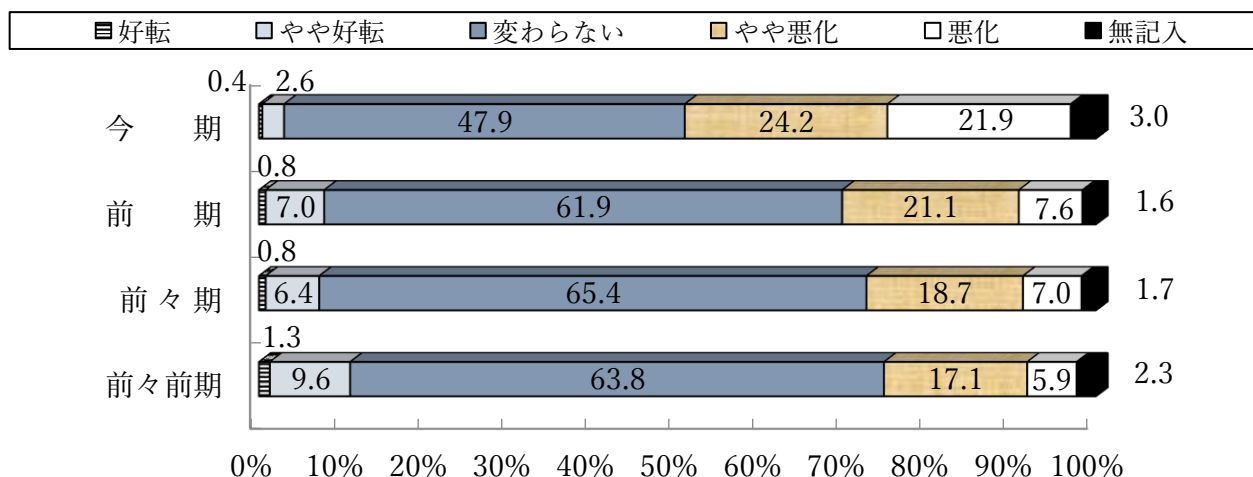
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が3.0%（前期7.8%）、「やや悪化・悪化」が46.1%（前期28.7%）で、D I値は▲43.1（前期▲20.9）となり、22.2ポイント悪化した。

業種別のD I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲39.8、建設業▲38.2、卸売業▲36.8、小売業▲46.4、飲食業▲63.4、サービス業▲46.4、交通運輸業▲36.2、その他の業種▲41.2となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が増加し悪化となり、北勢地区▲43.0、中勢地区▲46.2、南勢地区▲44.9、伊賀地区▲34.5、東紀州地区▲43.2となった。

図-8 販売条件



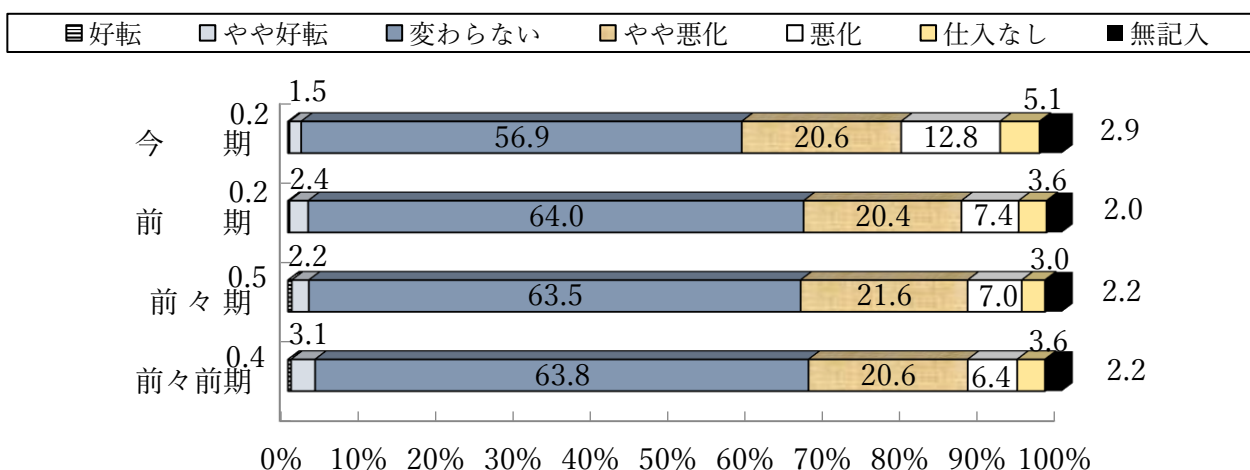
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が1.7%（前期2.6%）、「やや悪化・悪化」が33.4%（前期27.8%）で、D I値は▲31.7（前期▲25.2）となり、6.5ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、前回と比べ改善となった交通運輸業、ほぼ横ばいの卸売業を除く業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲28.8、建設業▲30.1、卸売業▲25.6、小売業▲35.4、飲食業▲57.1、サービス業▲29.1、交通運輸業▲17.3、その他の業種▲27.7となった。

地区別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいの東紀州地区を除くすべての地区でマイナス幅が増加し悪化となり、北勢地区▲31.9、中勢地区▲28.0、南勢地区▲34.3、伊賀地区▲29.1、東紀州地区▲36.6となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は428社、14.7%（前期479社、20.0%）、設備投資を予定している企業は447社、15.4%（前期335社、14.0%）であった。

業種別では、その他の業種が21.4%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、交通運輸業が22.4%と最も高い割合であった。

地区別では、北勢地区が実績16.3%と最も高く、設備投資の予定については南勢地区が19.7%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

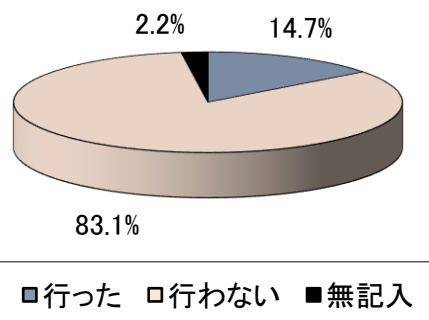
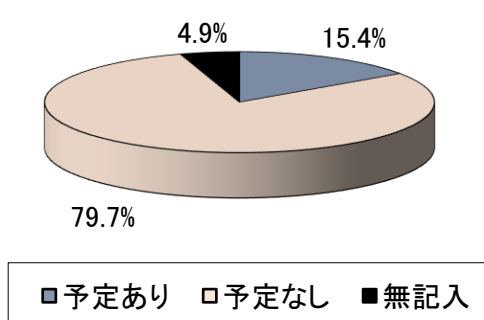


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

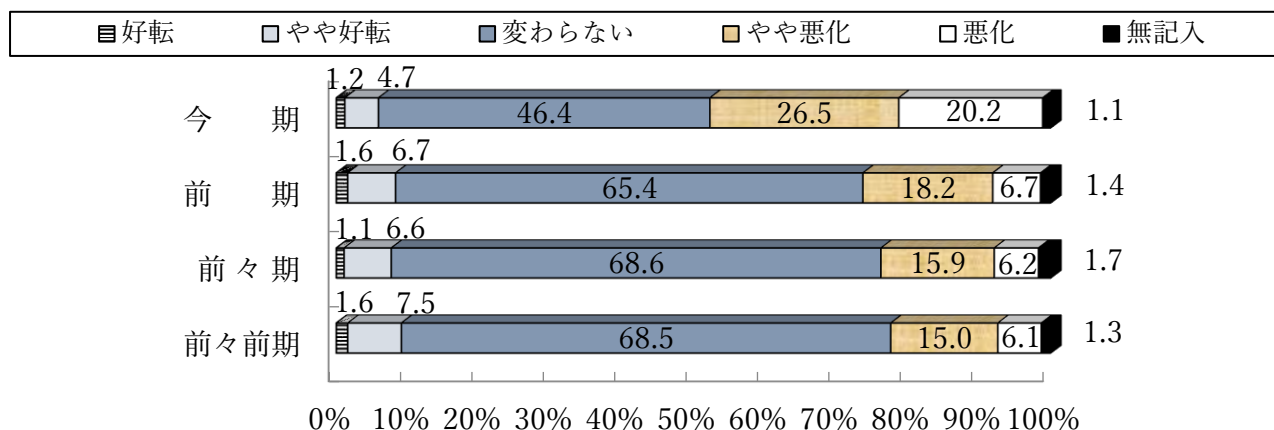
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が5.9%（前期8.3%）、「悪化・やや悪化」は46.7%（前期24.9%）で、D I値は▲40.8（前期▲16.6）となり、24.2ポイント悪化した。

業種別D I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲45.8、建設業▲28.0、卸売業▲38.1、小売業▲44.7、飲食業▲65.5、サービス業▲41.3、交通運輸業▲48.3、その他の業種▲31.8となった。

地区別D I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が増加し悪化となり、北勢地区▲36.6、中勢地区▲40.2、南勢地区▲54.8、伊賀地区▲44.1、東紀州地区▲45.5となった。

図－12 資金繰りの現状



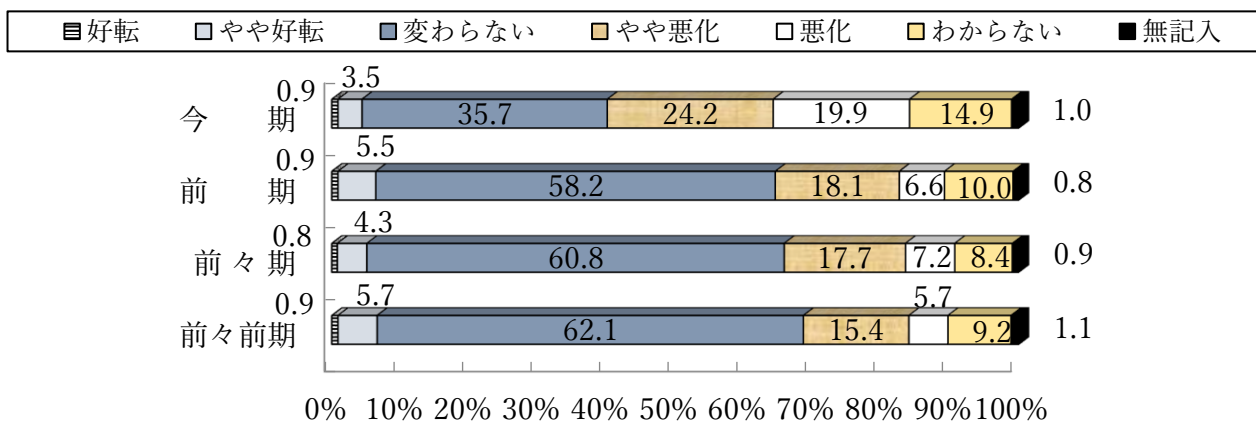
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が4.4%（前期6.4%）、「悪化・やや悪化」は44.1%（前期24.7%）でD I値は▲39.7（現状D I値▲40.8）となり、1.1ポイント改善の見通しとなった。

業種別D I値では、現状と比べほぼ横ばいとなったサービス業、その他の業種を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、製造業▲44.0、建設業▲34.3、卸売業▲35.7、小売業▲39.9、飲食業▲49.2、サービス業▲40.4、交通運輸業▲43.1、その他の業種▲31.7となった。

地区別のD I値では、現状と比べほぼ横ばいとなった北勢地区、伊賀地区を除くすべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲36.8、中勢地区▲38.8、南勢地区▲53.2、伊賀地区▲45.0、東紀州地区▲35.7となった。

図－13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,903 社のうち、借入を実施した企業は、1,391 社、47.9%（前期 1,054 社、44.1%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 26.5%（前期 16.7%）、「困難」は 10.6%（前期 8.7%）で、D I 値は 15.9（前期 8.0）と 7.9 ポイント改善した。

業種別 D I 値では、製造業 16.9、建設業 17.7、卸売業 14.0、小売業 15.4、飲食業 18.8、サービス業 12.6、その他の業種 17.0 で改善となり、交通運輸業 6.3 で悪化となった。

地区別 D I 値では、北勢地区 15.9、中勢地区 18.9、南勢地区 20.0、伊賀地区 11.8 で改善となり、東紀州地区 6.2 で悪化となった。

図-14 借入の難易度

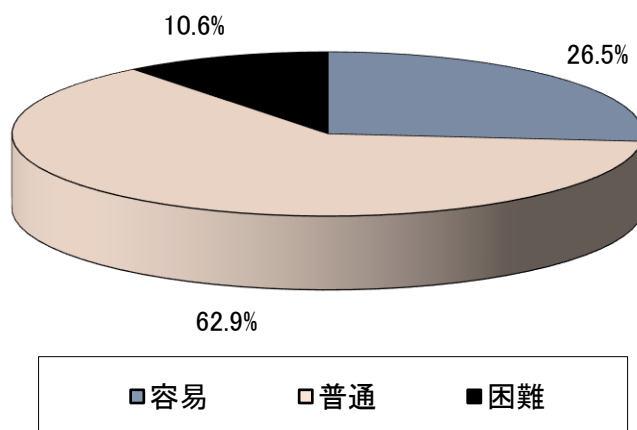
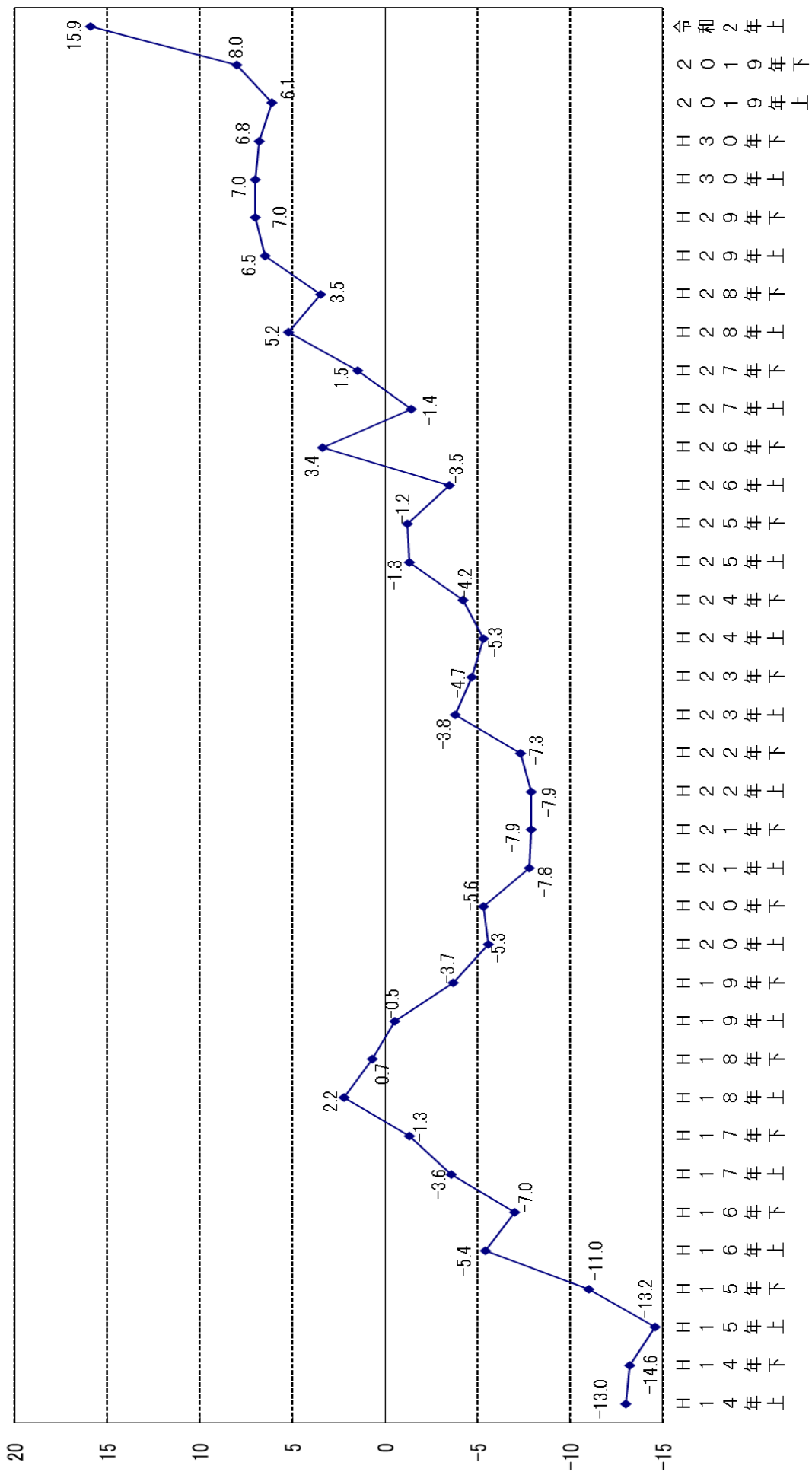


図-15 借入難易度DI値の推移



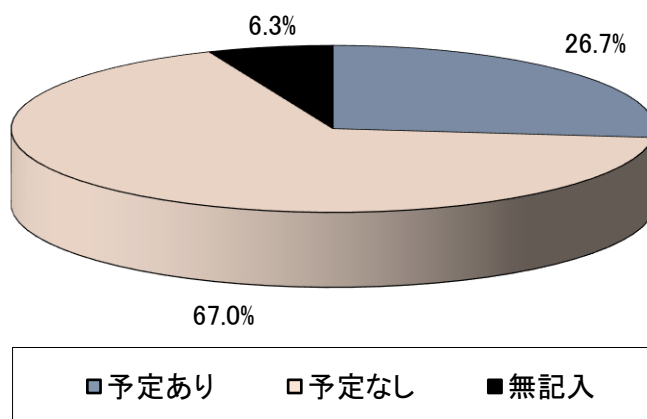
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,903 社のうち、借入を予定している企業は 774 社、26.7%（前期 332 社、13.9%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 41.4%と最も高く、その他の業種が 17.5%と最も低かった。

地区別では、伊賀地区が 29.1%と最も高く、北勢地区 26.7%、中勢地区 27.2%、南勢地区 27.7%、東紀州地区 21.0 となった。

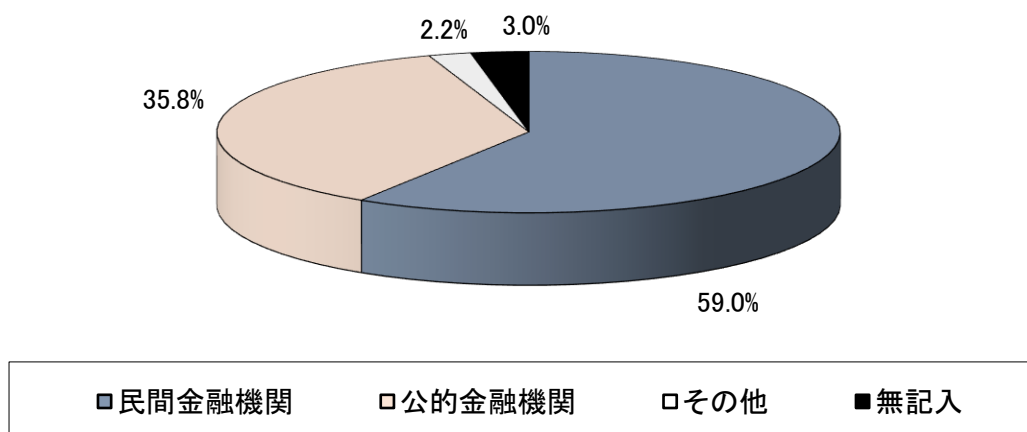
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 59.0%（前期 64.5%）、「公的金融機関」は 35.8%（前期 30.1%）となった。

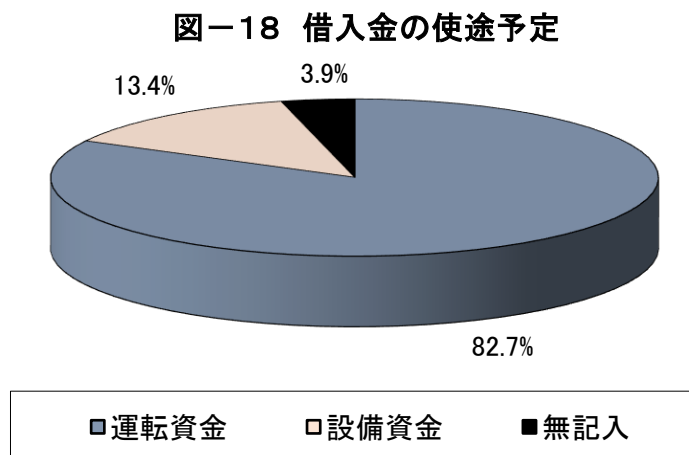
図-17 借入希望先



12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が82.7%（前期62.3%）に対し、「設備資金」は13.4%（前期34.0%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が89.7%、「設備資金」でサービス業が20.2%と、それぞれ最も高かった。



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く65.3%（前期45.0%）、次いで「人手不足」が18.2%（前期32.2%）、「設備店舗の狭小老朽化」が17.0%（前期17.3%）となった。「売上・受注の停滞減少」、「人手不足」は前回に引き続き、第1位、第2位となった。

業種別では、すべての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。建設業、交通運輸業、その他の業種では「人手不足」は前期第1位から、今期第2位となった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (73.3)	設備店舗の狭小老朽化 (22.4)	人材育成 (16.2)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (60.1)	人手不足 (33.9)	人材育成 (23.9)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (76.8)	競争激化 (22.6)	原材料高及び不足 (11.9)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (74.7)	競争激化 (22.9)	設備店舗の狭小老朽化 (20.4)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (73.3)	設備店舗の狭小老朽化 (25.7)	原材料高及び不足 (16.8)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (53.5)	設備店舗の狭小老朽化 (20.7)	競争激化 (16.0)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (70.7)	人手不足 (24.1)	人件費の増加 (12.1)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (44.4)	人手不足 (26.2)	人材育成 (16.7)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (64.3)	人手不足 (19.5)	人材育成 (16.6)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (64.8)	競争激化 (20.3)	人手不足 (17.6)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (68.4)	設備店舗の狭小老朽化 (21.3)	人手不足 (17.5)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (69.5)	競争激化 (20.0)	設備店舗の狭小老朽化 (15.9)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (64.7)	設備店舗の狭小老朽化 (22.3)	人手不足 (14.7)
総 合		売上・受注の停滞減少 (65.3)	人手不足 (18.2)	設備店舗の狭小老朽化 (17.0)

県内商工会議所地区の景況

◎桑名商工会議所地区（調査対象 1,454 事業所 回答状況 411 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が5.1%（前期17.0%）、「やや悪い・悪い」が76.7%（前期44.4%）となった。D I値は▲71.6（前期▲27.4）となり、前期調査時に比べ44.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲81.2（前期▲41.9）・建設業が▲59.1（前期6.7）・卸売業が▲76.7（前期▲30.4）・小売業が▲70.5（前期▲55.5）・飲食業が▲95.2（前期6.7）・サービス業が▲61.8（前期▲22.5）・交通運輸業が▲33.4（前期▲66.6）・その他の業種が▲77.0（前期0.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、交通運輸業以外の全ての業種で大幅な悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.4%、「やや悪い・悪い」との回答は68.6%、D I値は▲65.2となった。

現状のD I値▲71.6と比較すると、6.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲66.4・建設業が▲48.2・卸売業が▲73.4・小売業が▲80.3・飲食業が▲76.2・サービス業が▲67.6・交通運輸業が0.0・その他の業種が▲46.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が14.8ポイント、建設業が10.9ポイント、卸売業が3.3ポイント、飲食業が19.0ポイント、交通運輸業が33.4ポイント、その他の業種が30.8ポイント改善する見通しである。一方で小売業が9.8ポイント、サービス業が5.8ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、70.3%（前期50.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が17.8%（前期17.5%）、「競争激化」が15.8%（前期17.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業、飲食業では「売上・受注の停滞減少」は前期3位であったが、その2業種を含む全ての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は62社15.1%（前期15.6%）であった。前期と比較して0.5ポイント減少した。

業種別では、製造業が9.8%（前期12.0%）、建設業が13.3%（前期18.7%）、卸売業が10.0%（前期13.0%）、小売業が14.1%（前期18.3%）、飲食業が38.1%（前期6.7%）、サービス業が20.6%（前期16.1%）、交通運輸業が33.3%（前期33.3%）、その他の業種が23.1%（前期40.0%）となった。

前期と比較し、飲食業が31.4ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種が▲16.9ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎四日市商工会議所地区(調査対象事業所事業所 2,344 事業所 回答状況 659 事業所)

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が9.4%（前期19.5%）、「やや悪い・悪い」が70.2%（前期42.6%）となった。D I値は▲60.8（前期▲23.1）となり、前期調査時に比べ37.7ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲66.2（前期▲40.9）・建設業が▲59.0（前期▲4.5）・卸売業が▲79.1（前期▲56.7）・小売業が▲65.4（前期▲45.0）・飲食業が▲95.6（前期▲52.9）・サービス業が▲51.8（前期▲10.3）・交通運輸業が▲60.0（前期▲33.3）・その他の業種が▲25.1（前期▲16.0）となった。特に飲食業は、全業種の中で最も低下し、ほとんどの回答者の業況が悪化する厳しい状況となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.8%、「やや悪い・悪い」との回答は64.5%、D I値は▲58.7となった。

現状のD I値（▲60.8）と比較すると、2.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲61.5・建設業が▲53.3・卸売業が▲76.7・小売業が▲72.9・飲食業が▲60.9・サービス業が▲55.6・交通運輸業が▲40.0・その他の業種が▲35.7となった。

業種別に現状のD I値と比較すると製造業が4.7ポイント、建設業が5.7ポイント、卸売業が2.4ポイント、飲食業が34.7ポイント、交通運輸業が20.0ポイントと改善を見通す。一方で、小売業が▲7.5ポイント・サービス業が▲3.8ポイント、その他業種が▲10.6ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く60.5%（前期40.0%）、次いで「人手不足」が20.5%（前期37.9%）、「人材育成」が16.7%（前期20.6%）と上位を占めた。

業種別では、飲食業で前期8位（5.9%）の「原材料高及び不足」が今期3位（26.1%）の経営課題となった。同じく飲食業の「売上・受注の停滞減少」については、前期35.3%から38.6%増加し、他の業種と比較して最も深刻化する結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は113社17.1%（前期22.3%）であった。前期と比較して5.2ポイント減少した。

業種別では、製造業が13.1%（前期18.3%）、建設業が15.9%（前期24.2%）、卸売業が7.0%（前期16.7%）、小売業が11.1%（前期11.7%）、飲食業が26.1%（前期17.6%）、サービス業が25.9%（前期30.2%）、交通運輸業が20.0%（前期33.3%）、その他の業種では28.6%（前期28.0%）となった。

前期と比較し、飲食業が8.5ポイントと増加した一方で、小売業とその他の業種はほぼ横ばいで推移し、製造業が5.2ポイント、建設業が8.3ポイント、卸売業が9.7ポイント、サービス業が4.3ポイント、交通運輸業が13.3ポイント減少した。

◎鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 379 事業所）

現 状

2020年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が7.4%（前期19.6%）、「やや悪い・悪い」が68.8%（前期36.4%）となった。D I値は▲61.4（前期▲16.8）となり、前期調査時に比べ44.6ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲67.4（前期▲31.7）・建設業が▲53.7（前期4.2）・卸売業が▲53.9（前期▲50.0）・小売業が▲70.7（前期▲50.1）・飲食業が▲86.6（前期▲39.9）・サービス業が▲58.1（前期12.5）となった。

業種別に現状D I値を比較すると、製造業は35.7ポイント、建設業は57.9ポイント、卸売業は3.9ポイント、小売業は20.6ポイント、飲食業は46.7ポイント、サービス業は70.6ポイントの悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.7%、「やや悪い・悪い」との回答は76.0%、D I値は▲72.3となった。

現状のD I値（▲61.4）と比較すると、10.9ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲80.9・建設業が▲69.7・卸売業が▲61.6・小売業が▲70.8・飲食業が▲80.0・サービス業が▲73.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業が6.6ポイントの改善を見通すほか、製造業が13.5ポイント、建設業が16.0ポイント、卸売業が7.7ポイント、小売業が0.1ポイント、サービス業が15.1ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く62.3%（前期37.1%）、「人手不足」が26.4%（前期36.1%）、「人材育成」が20.1%（前期22.0%）と上位を占めた。

業種別では、「売上・受注の停滞減少」について建設業で前期3位23.2%が今期1位59.8%へ、飲食業でも前期3位20.0%が今期1位86.7%へ変動した。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は66社17.4%（前期22.3%）であった。前期と比較して4.9ポイント減少した。業種別では、製造業が11.2%（前期19.0%）、建設業が20.5%（前期31.6%）、卸売業が7.7%（前期12.5%）、小売業が22.0%（前期23.9%）、飲食業が13.3%（前期6.7%）、サービス業が17.9%（前期12.5%）となった。前期と比較すると、飲食業とサービス業で設備投資の増加が見られ、飲食業は6.6ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

◎亀山商工会議所地区（調査対象 534 事業所 回答状況 126 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が4.0%（前期16.5%）、「やや悪い・悪い」が84.1%（前期46.4%）となった。D I値は▲80.1（前期▲29.9）となり、前期調査時に比べ50.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲74.9（前期▲30.5）・建設業が▲50.0（前期6.3）・卸売業が▲66.7（前期▲50.0）・小売業が▲92.3（前期▲75.1）・飲食業が▲100.0（前期▲50.0）・サービス業が▲73.9（前期▲22.2）・交通運輸業が▲100.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲88.9（前期40.0）となった。

業種別でも前期D I値と比較してすべての業種について悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が1.6%、「やや悪い・悪い」との回答は73.0%、D I値は▲71.4となった。

現状のD I値（▲80.1）と比較すると8.7ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲67.8・建設業が▲57.2・卸売業が▲50.0・小売業が▲84.6・飲食業が▲90.9・サービス業が▲73.9・交通運輸業が▲75.0・その他の業種が▲44.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が7.1ポイント・卸売業が16.7ポイント・小売業が7.7ポイント・飲食業が9.1ポイント・交通運輸業が25.0ポイント・その他の業種が44.5ポイントの改善を見通すほか、サービス業が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が7.2ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、70.6%（前期42.3%）、「競争激化」が18.3%（前期11.3%）、「人材育成」が17.5%（前期26.8%）と上位を占めた。

また、業種別でも、すべての業種において「売上・受注の停滞減少」を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は15社 11.9%（前期25.8%）であった。前期と比較して製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業の業種で減少し、全体として13.9ポイント減少した。

◎津商工会議所地区（調査対象 1,635 事業所 回答状況 204 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が6.9%（前期19.0%）、「やや悪い・悪い」が73.0%（前期39.9%）となった。D I 値は▲66.1（前期▲20.9）となり、前期調査時に比べ45.2ポイント悪化する結果となった。

業種別の主要なD I 値を見ると、製造業が▲80.0（前期▲61.3）・建設業が▲62.5（前期7.9）・卸売業が▲72.7（前期▲7.7）・小売業が▲68.4（前期▲16.7）・サービス業が▲58.1（前期▲13.0）・その他の業種が▲52.3（前期0.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種については悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.5%、「やや悪い・悪い」との回答は69.2%、D I 値は▲65.7となった。

現状のD I 値（▲66.1）と比較すると、0.4ポイントとほぼ横ばいを見通している。

業種別の主要なD I 値を見ると製造業が▲80.0・建設業が▲69.6・卸売業が▲45.5・小売業が▲52.5・サービス業が▲67.5・その他の業種が▲47.6を見通す結果となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、卸売業、小売業、その他の業種については改善の見通しであるが、製造業はほぼ横ばい、建設業、サービス業については、悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、67.6%（前期45.4%）、「人手不足」が20.1%（前期40.5%）、「競争激化」が19.6%（前期20.9%）と上位を占めた。

また、業種別では、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は26社12.7%（前期23.9%）であった。前期と比較して11.2ポイント減少した。業種別では建設業が10社（前期15社）、製造業が8社、サービス業3社、小売業が2社、その他の業種が3社となった。

◎松阪商工会議所地区（調査対象 819 事業所 回答状況 319 事業所）

現 状

2020年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が5.3%（前期11.0%）、「やや悪い・悪い」が76.5%（前期50.0%）となった。D I値は▲71.2（前期▲39.0）となり、前期調査時に比べ32.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲74.2（前期▲44.3）・建設業が▲59.7（前期▲19.6）・卸売業が▲79.0（前期▲72.8）・小売業が▲75.4（前期▲52.0）・飲食業が▲88.2（前期▲56.3）・サービス業が▲66.0（前期▲26.4）・交通運輸業が▲78.9（前期▲26.4）となった。

業種別では前期D I値と比較して、全ての業種で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.0%、「やや悪い・悪い」との回答は63.0%、D I値は▲58.0となった。

現状のD I値（▲71.2）と比較すると、13.2ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲67.5・建設業が▲56.4・卸売業が▲73.7・小売業が▲53.6・飲食業が▲47.0・サービス業が▲50.9・交通運輸業が▲68.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が6.7ポイント、建設業が3.3ポイント、卸売業が5.3ポイント、小売業が21.8ポイント、飲食業が41.2ポイント、サービス業が15.1ポイント、交通運輸業が10.5ポイント改善する見通しである。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く63.0%（前期51.3%）、「競争激化」が20.7%（前期20.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が17.6%（前期16.7%）と上位を占めた。

また、業種別では全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は36社11.3%（前期20.0%）であった。前期と比較して8.7ポイント減少した。

業種別では、製造業が14.9%（前期18.6%）、建設業が11.3%（前期19.6%）、卸売業が5.3%（前期0.0%）、小売業が5.8%（前期17.3%）、飲食業が11.8%（前期37.5%）、サービス業が13.2%（前期17.0%）、交通運輸業が20.0%（前期42.1%）となった。

前期と比較し、卸売業が5.3ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は25.7ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 236 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が4.2%（前期22.1%）、「やや悪い・悪い」が78.8%（前期34.6%）となった。D I値は▲74.6（前期▲12.5）となり、前期調査時に比べ62.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲87.9（前期▲12.6）・建設業が▲45.8（前期▲5.4）・卸売業が▲86.7（前期▲20.0）・小売業が▲86.9（前期▲29.6）・飲食業が▲97.1（前期▲8.3）・サービス業が▲65.4（前期▲3.1）・交通運輸業が▲100.0（前期▲0.0）・その他の業種が▲66.7（前期▲60.0）となった。

業種別では前期D I値と比較してすべての業で悪化が見られた。特に飲食業については、▲105.4ポイントと大きく悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が1.2%、「やや悪い・悪い」との回答は67.4%、D I値は▲66.2となった。

現状のD I値（▲74.6%）と比較すると、8.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲66.7・建設業が▲62.5・卸売業が▲66.6・小売業が▲76.3・飲食業が▲71.5・サービス業が▲61.8・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲33.3となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、建設業が16.7ポイント悪化を見通すほか、交通運輸業が▲100.0ポイント、と現在の水準で推移する見通す一方で、製造業が21.2ポイント、卸売業が20.1ポイント、小売業が10.6ポイント、飲食業が25.6ポイント、サービス業が3.6改善を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、68.6%（前期43.8%）、「人手不足」が20.3%（前期33.0%）、「店舗設備の狭小老朽化」が15.7%（前期15.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、交通運輸業で「人材育成」が上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は30社12.7%（前期15.5%）であった。前期と比較して2.8ポイント減少した。業種別では、業種別ではサービス業が10社と最も多かった。

◎鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 125 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が3.2%（前期17.7%）、「やや悪い・悪い」が88.0%（前期51.0%）となった。D I値は▲84.8（前期▲33.3）となり前期調査時に比べ、51.5ポイントの悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲70.9（前期▲44.4）・建設業が▲70.0（前期▲40.1）・卸売業が▲100.0（前期▲16.7）・小売業が▲80.9（前期▲52.7）・飲食業が▲100.0（前期▲35.8）・サービス業が▲96.3（前期▲0.1）・交通運輸業が▲100.0（前期100.0）・その他の業種が▲80.0（前期▲75.0）となっている。業種別においても前回D I値と比較して、すべての業種で悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が0.8%、「やや悪い・悪い」との回答は75.2%、D I値は▲74.4となった。

現状のD I値（▲84.8）と比較すると、10.4ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲70.8・建設業が▲60.0・卸売業が▲83.3・小売業が▲76.2・飲食業が▲90.0・サービス業が▲74.1・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲60.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業が改善する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く68.0%（前期53.1%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が32.0%（前期34.4%）、「人件費以外の経費増加」・「競争激化」が12.8%（前期8.3%、16.7%）、と上位を占めた。

また、業種別においても全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となったが、製造業では「人手不足」、建設業では「人材育成」、卸売業では「競争激化」等の項目が上位を占める結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は26社20.8%（前期17.7%）であった。前期と比較して3.1ポイント増加した。業種別では、製造業が16.7%（前期16.7%）、建設業が15.0%（前期33.3%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が9.5%（前期5.3%）、飲食業が25.0%（前期14.3%）、サービス業が37.0%（前期26.3%）、交通運輸業が100.0%（前期0.0%）、その他業種が20.0%（前期25.0%）となった。

◎上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状況 105 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が1.9%（前期12.6%）、「やや悪い・悪い」が80.9%（前期41.3%）となった。D I値は▲79.0（前期▲28.7）となり、前期調査時に比べ50.3ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲65.4（前期▲29.2）・建設業が▲92.8（前期0.0）・卸売業が▲75.0（前期▲50.0）・小売業が▲82.3（前期▲31.2）・飲食業が▲100.0（前期▲50.0）・サービス業が▲76.4（前期▲28.6）・交通運輸業が▲100.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が2.9%、「やや悪い・悪い」との回答は69.5%、D I値は▲66.6となった。

現状のD I値（▲79.0）と今後の見通しD I値（▲66.6）とを比較すると、12.4ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲65.4・建設業が▲57.2・卸売業が▲50.0・小売業が▲76.5・飲食業が▲66.6・サービス業が▲70.6・交通運輸業が▲66.7となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が35.6ポイント、卸売業が25.0ポイント、小売業が5.8ポイント、飲食業が33.4ポイント、サービス業が5.8ポイント、交通運輸業が33.3ポイント改善を見通すほか、製造業が0.0ポイントと現在の水準での推移を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く80.0%（前期54.0%）、「競争激化」が21.9%（前期26.7%）、「設備店舗の狭小老朽化」が19.0%（前期27.6%）、「人出不足」が12.4%（前期19.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は12社11.4%（前期17.2%）であった。前期と比較して5.8ポイント減少した。

業種別では、製造業が3.8%（前期12.5%）、建設業が21.4%（前期33.3%）、卸売業が0.0%（前期16.7%）、小売業が17.6%（前期6.3%）、飲食業が11.1%（前期50.0%）、サービス業が11.8%（前期14.3%）となった。業種別では、建設業と小売業が3社と最も多かった

◎名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 115 事業所）

現 状

2020年1月～6月の業況は、「良い・やや良い」が7.8%（前期23.5%）、「やや悪い・悪い」が65.2%（前期38.8%）となった。D I値は▲57.4（前期▲15.3）となり、前期調査時に比べ42.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲70.6（前期0.0）・建設業が▲48.3（前期10.5）・卸売業が▲37.5（前期0.0）・小売業が▲76.9（前期▲49.9）・飲食業が▲83.4（前期▲50.0）、サービス業が▲50.0（前期▲22.2）・その他の業種が▲25.0（前期20.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して全ての業種において悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が6.1%、「やや悪い・悪い」との回答は68.7%、D I値は▲62.6となった。

現状のD I値（▲57.4）と比較すると、5.2ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲82.3・建設業が▲62.0・卸売業が▲62.5・小売業が▲69.2・飲食業が▲58.3・サービス業が▲56.2・その他の業種が▲25.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が11.7ポイント・建設業が13.7ポイント・卸売業25.0ポイント・サービス業が6.2ポイント悪化を見通すほか、その他の業種は現在の水準で推移する見通しである。一方で小売業が7.7ポイント・飲食業が25.1ポイント改善を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、60.0%（前期33.7%）、「競争激化」が18.3%（前期24.5%）「人手不足」が16.5%（前期28.6%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、その他の業種で「人手不足」「人材育成」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は16社13.9%（前期24.5%）であった。前期と比較して10.6ポイント減少した。業種別では建設業が7社と最も多かった。

業種別では、製造業が17.6%（前期26.7%）、建設業が24.1%（前期21.1%）、卸売業0.0%（前期0.0%）、小売業が0.0%（前期33.3%）、飲食業が8.3%（前期33.3%）、サービス業が15.6%（前期29.6%）、その他の業種では0.0%（前期0.0%）となった。

◎尾鷲商工会議所地域（調査対象 142 事業所 回答状況 139 事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が4.3%（前期7.1%）、「やや悪い・悪い」が76.2%（前期56.3%）となった。D I 値は▲71.9（前期▲49.2）となり、前期調査時に比べ22.7ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲61.7（前期▲48.4）・建設業が▲56.5（前期▲21.7）・卸売業が▲80.0（前期▲62.5）・小売業が▲81.3（前期▲78.3）・飲食業が▲100.0（前期▲60.0）・サービス業が▲76.2（前期▲47.3）・交通運輸業が▲40.0（前期▲25.0）・その他の業種が▲85.7（前期▲33.3）となった。

業種別では前期D I 値と比較して全ての業種において悪化し、特にその他の業種 52.4 ポイント、飲食業 40.0 ポイント、建設業 34.8 ポイント、サービス業 28.9 ポイントとマイナス幅が大きくなった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.6%、「やや悪い・悪い」との回答は59.0%、D I 値は▲55.4となった。

現状のD I 値（▲71.9）と比較すると、16.5ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲47.0・建設業が▲39.2・卸売業が▲80.0・小売業が▲68.8・飲食業が▲58.4・サービス業が▲61.9・交通運輸業が▲60.0・その他の業種が▲42.9となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、その他の業種が42.8ポイント改善を見通すほか、飲食業が41.6ポイント、建設業が17.3ポイント、製造業が14.7ポイント、サービス業が14.3ポイント、小売業が12.5ポイントの改善を見通し、卸売業が横ばい、交通運輸業が20.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く63.3%（前期48.4%）、「設備店舗の狭小老朽化」が22.3%（前期21.9%）、「原材料高及び不足」が13.7%（前期20.3%）、「人手不足」が13.7%（前期18.8%）、「競争激化」が13.7%（前期14.1%）と上位を占めた。

業種別では、設備店舗の老朽化について製造業では前期3位の24.2%から今期2位の26.5%、小売業では前期3位の17.4%から今期2位の21.9%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は16社11.5%（前期19社14.8%）であった。前期と比較して3.3ポイント減少した。

業種別では、製造業11.8%（前期6.1%）、建設業13.0%（前期26.1%）、卸売業0.0%（前期25.0%）、小売業3.1%（前期4.3%）、飲食業25.0%（前期20.0%）、サービス業9.5%（前期10.5%）、交通運輸業20.0%（前期0.0%）、その他の業種28.6%（前期66.7%）となり、前期と比較し、交通運輸業が20.0ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種は38.1ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では、製造業が4社と最も多かった。

◎熊野商工会議所地区（調査対象200事業所 回答状況85事業所）

現 状

令和2年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が8.2%（前期23.1%）、「やや悪い・悪い」が77.7%（前期59.0%）となった。D I値は▲69.5（前期▲35.9）となり、前期調査時に比べ33.6ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲75.0（前期▲12.5）・建設業が▲14.3（前期33.3）・卸売業が▲75.0（前期▲100.0）・小売業が▲50.0（前期▲30.0）・飲食業が▲84.6（前期▲100.0）・サービス業が▲100.0（前期▲25.0）・交通運輸業が▲100.0（0.0）・その他の業種が▲50.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して卸売業・飲食業・その他の業種で改善が見られた。特にその他の業種については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業・建設業・小売業・サービス業・交通運輸業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が2.4%、「やや悪い・悪い」との回答が68.2%、D I値は▲65.8となった。

現状のD I値（▲69.5）と比較すると、3.7ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲83.3・建設業が▲14.3・卸売業が▲75.0・小売業が▲63.6・飲食業が▲53.9・サービス業が▲85.0・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲50.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業が30.7ポイント・サービス業が15.0ポイント改善を見通すほか、建設業・卸売業・交通運輸業・その他の業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が8.3ポイント・小売業が13.6ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く67.1%（前期59.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が22.4%（前期15.4%）、「人手不足」が16.5%（前期23.1%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業が、前期1位「原材料高及び不足」50.0%から今期1位「売上・受注の停滞減少」66.7%に変動し、交通運輸業が、前期1位「競争激化」100.0%から今期1位「売上・受注の停滞減少」100.0%に変動した。

「売上・受注の停滞減少」の課題が上昇している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は10社11.8%（前期23.1%）であった。前期と比較して11.3ポイント減少した。業種別では建設業・小売業・飲食業・その他の業種が2社であった。

景況調査票

令和2年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
〈建設業〉	6. 化学製品	7. 土石業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈卸売業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈小売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈飲食業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈サービス業〉	21. 飲食店				
〈交通運輸業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		


2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について


3 現状について…令和2年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

理由: 

4 今後の見通しについて…令和2年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

理由: 

5 売上状況について…令和2年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6 売上の見通しについて…令和2年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

7 利益状況について…令和2年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入	なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	-------	----

10 設備投資について

令和2年1～6月の実績		令和2年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし



11 資金繰りの現状について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…令和2年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わから	ない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	--------	----

13 借入の現状について…令和2年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)


1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14 借入予定はどうか…(令和2年7～12月)

1. 予定	して	いる	2. 予定	して	いない
-------	----	----	-------	----	-----

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. そ	の	他
-----------	-----------	------	---	---



14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運	転	資	金	2. 設	備	資	金
------	---	---	---	------	---	---	---



15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。